学校番号	１０１２

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	手話講座Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「手話は特別じゃない１つの言葉」このメッセージは手話とは１つの言語であり、当たり前に皆が知っていてほしいという意味です。聴覚障がいのある人もない人も学んで欲しい言語です。
また手話は目で見る言葉です。表情豊かに表現することにより相手に伝わります。指文字や身近な単語、都道府県、言い回しなどをコツコツと学習し練習を積み重ねると聴覚障がいのある方ともコミュニケーションができる手話の力が身に付きます。本授業では手話そのものだけでなく、聞こえに関する学習を通じて聴覚障がいのある方に関する理解や支援の方法も学びます。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】
聴覚障がいのある人の個々の状況に応じた効果的なコミュニケーション方法を理解している。
手話表現に必要な単語や会話文を学び、覚えることができている。
【思考力、判断力、表現力等】
聴覚障害のある人との効果的なコミュニケーション方法に関する課題を発見し、解決しようとしている。表情豊かに表現できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
自身のコミュニケーション能力向上について主体的に考察している。
単語や会話文の定着のために繰り返し学習ができている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	挨拶や自己紹介、指文字、数字、日常生活で使用する基本的な手話について学び手話の読み取りや表現が出来るようになる。読み取りテストや実技テストを取り入れ手話の定着を図る。	手話の強弱や表情、口話を意識し相手に伝わりやすい手話表現を目指す。ペアやグループ活動では互いに協力しながら手話が発表できるようにする。	手話を学び表現することで手話の楽しさに触れる。聴覚障がいに関する問題に関心をもち理解しようとする姿勢を養う。自ら手話を学び、手話を用いて聴覚障がいのある方と交流を行う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		手話で自己紹介を行う。指文字や数字、誕生日、家族、体育祭に関連する 表現について学ぶ。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テスト プリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表
		身近な単語や文章をジャスチャーで表現する。ペアで会話文を作成し表現する。聴覚障がい者の生活や思いについて知る。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テスト プリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表
2		都道府県や手話の言い回しについて学ぶ。童謡や歌謡曲といった親しみのある曲を手話に訳し手話歌を完成させる。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テスト プリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表

		身近な単語や文章をジャスチャーで表現する。ペアで会話文を作成し表現する。聴覚障がい者の生活や思いについて知る。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テストプリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表
3		ビデオを視聴し手話を読み取る。短文を覚え音声を聞きながら手話で発表する。「赤鼻のトナカイ」を手話で発表する。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テストプリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表
		身近な単語や文章をジャスチャーで表現する。ゲストに聴覚障がいのある方をお招きし手話で交流する。	a:手話に関する基礎的な知識を身に着け、意義や役割を理解している。手話の単語や文章が身についている。 b:手話表現について思考を深め基礎的な知識と技術を基に適切に判断し適切に表現している。 c:表情豊かに手話を表現し他者とのコミュニケーションができている。	テスト	テストプリントの記述	プリントの取り組み・ワークの参加・発表

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度